



創業から78年、運送全般を扱う越野運送(大阪市都島区)は環境保全への取り組みにも力を入れており、昨年はこのグリーン物流パートナーシップ大臣表彰のほか、交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰、環境省エコドライブコンテスト優秀賞、大阪エコドライブ大賞など様々な賞を受賞している。

今回受賞のグリーン物流では、荷主であるダスキンの2工場に調達先4メーカーが個別にディーゼルトラックを使って納品していた状況の改善が評価された。

ダスキんに納める商品等の手配元である繊維商社・ヤギ(大阪市中央区)から「他社とは違うサービスを打ち出したい」と声がけにより、輸送を請け負っていた同社がシステムの改善構想を練り、さら

にCNG車両も導入して、改善後はCO2排出量を年間64%も削減、削減率は86%という高実績を残した。

改善の最前線に立った越野泰弘社長は「関西地区にある4メーカーと大阪中央の工場はミル克蘭(巡回)方式の共同輸配送で工場に荷をまとめ、幹線輸送である関東の埼玉工場へは大阪中央の工場から鉄道コンテナによるモーダルシフトを実施した。鉄道の利用でCO2の削減がかなりできたが、日々の共同輸配送でCNG車を導入したことに

越野運送 (国土交通大臣表彰)

CNG車活用で2組が受賞 「グリーン物流優良事業表彰」

荷主と共に環境負荷低減に取り組むグリーン物流パートナーシップ事業として昨年末、「平成22年度優良事業者表彰」が発表された。表彰を受けた4組のなか、CNG車を活用し成果を上げた2組の物流企業にCNG車活用のポイントや改善の工夫点を聞いた。

という要因が大きい。ただ現在は共同改善・受賞した商社やギン様にコスト増の負担が掛かっているのが、今後はパッケージの見直しなども含め、相対的なコスト削減にも取り組んでいきたい」と話す。

パナソニックロジスティクス(大阪府摂津市)は、パートナー会社約200社の協力を得ながら、パナソニック(大阪府門真市)の商品を1日に1000台以上のトラックを稼動し輸送している。パート

(経済産業省商務流通審議官表彰) パナソニックロジスティクス

今回、国家プロジェクトが開発した大型CNG車の公道試験に参画し、タカラトミー「帰りの確保ができた」こととで実現。パナソニックロジスティクスでは「システムの構築では運送スケジュールや輸送品質向上など、荷主であるパナソニックとタカラトミーの理解・協力に加え、関係の協力会社やドライバーの協力もソフト面として重要。環境に対して一体となって取り組む姿勢に大型CNG車というハード面が加わって可能になった。今後も国内1000ルートある配送網を利用して、より効率の良い方法を考えていく」と述べる。

